

タイ日 高校サイエンスフェア参加



英語で研究の内容を発表。質疑応答も英語で行います。この日のために練習してきた成果を出し切りました。

国境を越えた科学の交流に2年次生が参加

12月15日～20日に、本校からタイに旅立ちました。参加したのは「Thailand-Japan Student Science Fair 2025」(以下TJSSF)。これは協定校であるタイの「プリンセスチュラボーンハイスクール」が主催する日本とタイの科学交流イベントです。本校からは科学部生物班の2年次生が参加し、外来種オオキンケイギクについての研究を発表しました。

参加にあたり、「A」の先生方と話す「しゃべタイム」で英会話を鍛え、タイの高校の生徒や先生方への発表に臨みました。

工ウレカ通信 探究情報推進部

SSSH事業の一つ、2年次対象の「プログレス探究B」では、タイの高校生と遠隔でつながり、研究を進めています。



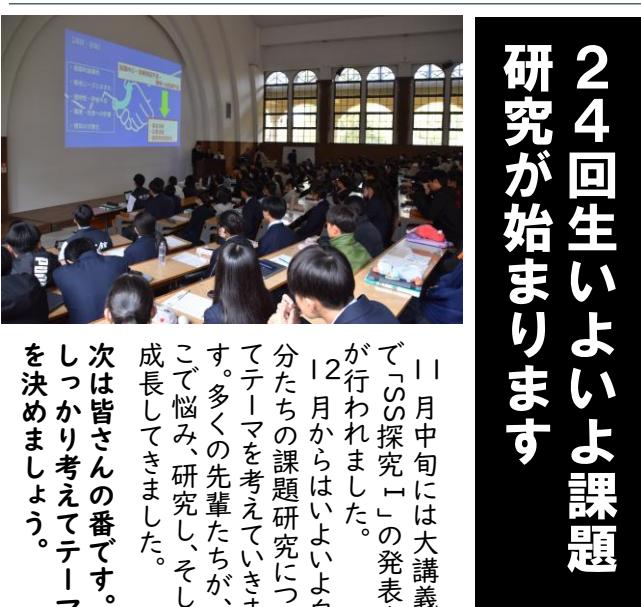
外部発表・イベントに参加しています！

2年次は2月の「ポスター提出」に向けて課題研究も大詰めに向かっています。その中で、文系・理系を問わず外部発表やイベントに多くの班が参加しました。

プログレス探究Bでもタイと交流



本とタイの違いを比較することで共同研究を行っています。1月にはこのメンバーの中からタイへ渡航する人もおり、新たにタイの国際交流が楽しみですね。



24回生いよいよ課題

11月中旬には大講義棟で「1の探究」の発表会が行われました。12月からはいよいよ自分たちの課題研究についてテーマを考えていきました。多くの先輩たちが、ここで悩み、研究し、そして成長してきました。

次は皆さんの番です。しっかりと考えてテーマを決めましょう。

「課題研究」を入試に生かした先輩たちにインタビュー

3年次生の中には課題研究を自己自身の進路に生かした人もいます。

大学に出願する際の志望書に自身の探究活動の経験を記述した人、直接で語った人。中には実際に自分の行った課題研究についてのプレゼンを行った人もいます。



約2年間の課題研究はどうでしたか?感想を聞いています

あなたにとつて探究とは?